

令和元年度 京都府がん医療戦略推進会議 研修部会 議事要旨

日時：令和2年1月10日（金）18時00分～19時45分

場所：京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センターシミュレーションエリア

出席団体：京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、京都第二赤十字病院、京都市立病院、京都第一赤十字病院、京都医療センター、京都桂病院、宇治徳洲会病院、市立福知山市民病院、京都山城総合医療センター、京都中部総合医療センター、京都府立医科大学附属北部医療センター、舞鶴医療センター、京都岡本記念病院、京都府健康対策課

議事に先立ち、部会長から、本研修部会委員名簿の報告があった後、平成31年1月23日に開催した前回の議事要旨について確認依頼があった。

【議事】

1. 令和元年度 がん研修計画について

各機関に対して令和元年度がん研修計画について確認依頼があり、追加・修正等がないか確認された。

なお、京都府健康対策課よりこの研修計画情報は、京都府ホームページに掲載しており、京都府民等に公開・情報提供することは非常に有益であるとの補足があり、京大を通して継続していきたい旨の報告があった。

2. 令和2年度 がん研修計画策定について

令和2年度がん研修計画について、今年度と同様に、各機関において計画策定されることを了承された。

なお、令和2年度がん研修計画策定状況について、令和2年4月と10月に京大病院から各機関へ照会し、それを取りまとめたものを京都府へ提出し、京都府ホームページに掲載することで京都府民等に公開・情報提供するという手順を進めていくことの案内があり、了承された。

3. 各機関の令和元年度がん研修実施報告について

令和元年度がん研修実施状況について、次の14機関から順次報告があった。

- ① 京都岡本記念病院から、市民向けの健康講座や人生の最終段階における医療体制整備事業の実施、計画としてゲノム医療、緩和ケアにおける思いの言語化支援についての補足があった。
- ② 舞鶴医療センターから、PEACE、ELNEC-J、北部4施設を対象とした京都府北部緩和ケア研究会の報告があった。なお、今回の京都府民公開講座はインフルエンザ流行の影響で中止になったとの補足があった。
- ③ 北部医療センターから、府民公開講座、多職種を対象としたかかりつけ医と当センターとの連携会議、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を題材とした月例教育研修会、緩和ケア研修会の報告があった。また、がん診療棟が建設中でありリニアック・PET-CTなどを用いさらに充実させたいとの報告があった。
- ④ 京都中部総合医療センターから、南丹医療圏での地域医療支援病院としての位置づけと、活動としてPEACE・ELNEC研修会等の報告があった。また、根治照射と緩和ケアについての説明があった。DPC係数・がんパスを運用し、地域連携に取り組んでいるとの報告があった。
- ⑤ 京都山城総合医療センターから、緩和ケア研修会、がんサロン、認定看護師による講座の報告があった。なお、3年前より始めた認定看護師による院外出張講座は減少したとの補足があった。

- ⑥ 市立福知山市民病院から、緩和ケア研修会、がん治療の基礎知識、薬物療法や CV ポートの取り扱いについてなどの報告があった。また、今後も緩和ケアチームを軸として研修会を積極的に開催したい旨の報告があった。
- ⑦ 宇治徳洲会病院から、キャンサーボード、緩和ケア研修会、地域医療連携の会、臓器別連携の会、市民向けとして健康講座やがんに関する講座についての報告があった。特に広報の方法について質問があり、行政や教育委員会を活用した独自の方法についての説明があった。
- ⑧ 京都桂病院から、京都府緩和ケア研修会、緩和ケア合同カンファレンス、在宅緩和ケア講演会、がん化学療法講演会、京都消化器病フォーラム、がん地域医療連携力向上研修、就労・両立支援講演会、がん市民講演会、がん患者サロン等の報告があった。広報については患者受付にチラシを置いて増員を図っているとの説明があった。
- ⑨ 京都医療センターから、京都府院内がん登録部会の活動状況、がんゲノム医療ではエキスパートパネル、診療セミナー、院内がん登録部会でのがん研修会 2 件の報告があった。また教育分野では生徒と教師を対象にした生命のがん教育についての報告があった。
- ⑩ 京都第一赤十字病院から、がん患者に携わる医療者対象の研修会、地域医療連携、緩和ケア、がん患者・家族のための学習会・交流会等の報告があった。また今年度より緩和ケア病棟が新設される予定であり、より研修を充実させたい旨の説明があった。
- ⑪ 京都市立病院から、みぶ病診カンファレンス、かがやき、PEACE、ELNEC の報告があった。今年度より緩和ケア病棟がオープンした関係で、緩和ケア研修には力を入れており、特に出前講座では訪問介護員を対象にした緩和ケアを実施し、ヘルパーさんと接することで訪問看護に携わるヘルパーさんが抱える問題を知る機会となった。
- ⑫ 京都第二赤十字病院から、緩和ケア研修会、薬物療法、京都第一赤十字病院と連携しての ELNEC-J コアカリキュラム看護教育プログラム、市民公開講座、セラピードッグを用いたがんサロンの報告があった。また、放射線治療部門の現場見学会等の報告があった。現場見学会はレクチャー形式ではなく、体験を重視しているので受診者側の体験ができて大変好評であった旨の報告があった。
- ⑬ 京都府立医科大学附属病院から、関西 7 大学で実施している第 3 期がんプロフェッショナル養成プラン事業、キャンサーボード、がんプロ合同研修会、緩和ケア研修会、ERNEC、府民公開講座等の報告があった。
- ⑭ 京都大学医学部附属病院から、がんプロフェッショナル講演、がんゲノム医療、遺伝子診療部勉強会、長期入院病児の兄弟を対象にしたきょうだいさんの会、民間企業の遺伝子取り組みと今後の展望、がん患者さん美容ケアの報告があった。

4. アンケート集計結果について

各機関の研修情報等を掲載するための FaceBook 利用状況等についてのアンケートの結果、研修情報を FaceBook に掲載することは、各機関の事情により運用が難しい施設が多いとの報告があった。閲覧者を増やす為にも掲載数を上げる必要があるが、Facebook が持つ性格上、セキュリティの問題など活用に消極的な意見が多かった。委員より他の方法なども含めて少数でチームを組んで解決するのが得策であり、京都府も含め情報の専門家に対応してはどうかとの意見があった。

次に現在企画中のシリーズがん最前線動画について、議長よりアンケートに基づいて人気のある演題から着手したいとの意見があり、地域連携、在宅医療、がんと就労の両立支援また、委員から意見のあった高齢者のシェアードデザインメイキングや ACP についての要望や、各機関の研修報告で話のあった京都医療センターでのがん登録部会、京都市立病院で実施された在宅支援についての出前講座、京都第二赤十字病院の現場見学会が、今後の製作予定として動画のテーマに挙げられた。

5. その他

来年度も今年度同様、12月～1月を目処に当部会を開催する旨の案内があり、了承された。